

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

中高生リーダー研修会に参加して

中高校生リーダー研修委員会 委員長 荒木 一 夫 (川崎市子ども会連盟)

開会式で最初に皆が集まったときは、1泊2日をしっかりと乗り切っていけるか、仲間作りができるか不安も大きかったのですが、各プログラムを通して、着実に成長、協力していく皆の様子が見られ、ほっとしました。

野外炊事は仕事が多かったけれど、分担、協力をしながら楽しくやっていたと思います。キャンプファイアは各団体の雰囲気良く出ていて新鮮に感じました。ひざや腰を痛めた分だけけっこう盛り上がったのしかったです。朝食は普段なかなかできない焚き火形式で、キャンプムードを満喫できました。工作は少し難しいところもありましたが、無事完成

してよかったです。手作りピザは文句なくおいしかったです。たまには自分で作ってみるのもいいものです。スポーツ大会は、この研修の集大成にあたるというのは大げさかもしれませんが、お互いの信頼感ができていなかったら、あそこまで楽しむことは出来なかったらと思います。

ふりかえると実に盛り沢山の研修で、いいプログラムを組んだものだと思います。

今回の研修で、中高校生リーダー研修委員会に興味を持ってくれた人は、ぜひ委員会側に入ってみてください。疲れますが、新しい発見もあります。皆さんお疲れさまでした。



曾 根 まなみ

(ガールスカウト川崎市連絡会)

今回の活動で私にとって一番の目的は他の団体と沢山交流ができるかでした。途中参加をした私が入れるか不安だったのですが気にしていた程ではなくて、沢山の方達と交流することができました。

野外炊事やキャンプファイア、夜をみんなで過ごせたことによって得た物が沢山あります。私は今回の活動を次に活かせる様に参加できなかったスカウト達に伝えていこうと思います。



後 藤 慧 美

(川崎海洋少年団)

今回の中高校生リーダー研修会は、私は中1で、海洋少年団から1人だったので正直不安でした。

でも、実際に事前に話し合いをしたり、当日にみんなで集まってみると仲良く、楽しく過ごすことが出来たので良かったです。

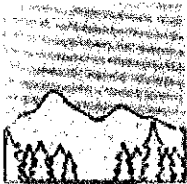
また、他の団体との交流をすることもなかったのそれぞれの活動内容を知り違いを発見し、これからの海洋の活動に活かしていきたいと思います。スタッフの仕事も十分にできなかった面もあったけど参加者やアドバイザーさんたちのおかげで、二日間のりきることができたのでとても楽しいリーダー研修会になったと思います。

「一歩成長！」

ガールスカウト神奈川県第48団 レンジャー 小林 あゆみ

昨年10月、川崎市青少年の家で行われた「南関東ギャザリング」に初めて参加しました。「少し自分を変えてみたい！」という思いと、川崎市で開催されるという行きやすさが重なり、参加することにしました。テーマごとに班が決まっています、私は『タバコと薬物』の班でした。班のメンバーは8人の高校生スカウトで、最初はとても緊張しました。しかし段々と打ち解けていき、学校の友達が吸っているという話や、タバコ・薬物を勧められたらどうする？ということや、タバコの影響、禁煙・分煙の取り組み、など多くの話ができました。3日目、最終日の全体会で、「喫煙者も禁煙者もお互いに気持ちの良い環境を作っていこう」という結論を発表しました。「みんなで禁煙活動をしていった方が良い」と思っていた私一人では、出てこなかった素晴らしい結論がでたと感じています。自分の意見をぶついたり、他人の意見を聞くという貴重な経験ができ、成長することができました。

2日目に訪れた横浜中華街も楽しかったです。



日帰りスキー教室



川崎海洋少年団 井本 勝己

今冬、2月8日(日)に軽井沢プリンスホテルスキー場にて、スキー教室を実施しました。当日は、天候が良く、とても十分に楽しむことができました。

初めて、スキーをする団員がほとんどであり、スキー靴を最初に履いただけでも転びそうになり、皆、大丈夫かなと戸惑いを感じながらも、広いスキー場を見ると、とたんに、にこやかな表情に一変しました。

準備体操後、横歩きと簡単な転び方など行った後、実際に滑り始めました。その次に何度も、板を担ぎながら雪坂を登って滑りました。板をかつぐことは大変だったけども、より高い所から滑ろうと皆、もくもくと雪坂を登っていました。最後は、繰り返し、

リフトを乗り、「今回は一回も転ばずに滑れた」と自信を感じたようでした。

帰りの電車の中でも、また、スキーをやりたいと声もあがり、盛況なスキー教室となりました。





幸区に雪がやってきました!

幸区子ども会連合会 大嶋 治夫



新潟県の旧山古志村(現長岡市)から2月11日幸区小倉の新鶴見操車場跡グラウンドにトレーラー15台分、計350トンの雪が運ばれ子供たちがそり遊びや雪だるま遊びを楽しみました。

山古志村出身で区内で食肉会社を営んでいた故星野堅七さんが私費を投じて故郷の雪をプレゼントしてきたイベントで、5回目になります。今年は暖冬で雪を見れなかった子ども達が朝から多数集まり、大人・子ども総勢2500人参加という最高記録になりました。子ども会はテント張りやトン汁を担当しました。



「第38期白梅隊がはじまりました」

ボーイスカウト川崎地区協議会 進歩委員会副委員長 岩永 成 央

ボーイスカウト川崎地区では中学1,2年生を中心に立派な人物の養成のために「白梅隊」という名の訓練会を行っております。今回で38回目になる伝統のある行事です。本年は第38期白梅隊を1月25日に結隊しました。8団の境口隊長を中心に22名のスカウトが集結し、3つの班で2回の隊集会を経て、3月末まで活動を行っていきます。

白梅隊で目的とするところはグリーンバー(班次長章の帽の色からくる名称)を養成することです。リーダーシップの取れる、輝いたスカウトたちが原隊

で活躍することを願っています。

今期のテーマは「Try&Errorを繰り返して、グリーンバーの任務を体得する」です。結隊して間もないので、みんなが顔と名前を覚えて、何回か班集会を繰り返して、互いに意志疎通し、素晴らしい班を作り上げていくことは簡単ではありません。参加したスカウトそれぞれが自分の役割を自覚し、困難に打ち勝ってください。これからキャンプまで1カ月、皆の力をあわせて、38期白梅隊を盛り上げていきましょう。

ガールスカウト川崎市連絡会年少部門・合同音楽会

ガールスカウト神奈川県第40団 リーダー 坂本 理恵子

昨年11月30日、連絡会年少部門・合同音楽会を高津市民館にて開催いたしました。受付時間前には各団のスカウトたち廊下のあちこちで練習をしている姿が……もちろん私たち40団のスカウトたちも、市民館に着くなり「リーダー練習しようよ。」と緊張が隠せない様子でした。

音楽会とはいえスキット形式のもの、楽器を使ったものなど各団それぞれの個性を出して発表しましたが、経験があるスカウトが率先して他のスカウトに教えている姿を見ることが出来ました。区民祭、市民祭とイベントが多い中、少しの練習時間しかとれませんでした。各自、家で練習したりと頑張っていました。

当日の運営は、式次第を書いたり、司会をしたり、各団がそれぞれを担当して、スカウト主体の会を開くことができました。発表の間にはゲームやソングもお混ざり、楽しく、そして、なによりスカウトたちが頼もしく見えた会でした。





「新年たこあげ大会」



ボーイスカウト川崎地区協議会 川崎39団RS隊隊長 北條賢一

ボーイスカウトでは新年の初集会として、各国においてさまざまな行事が実施されました。今回は川崎39団の団行事を紹介します。

新年の初集会として、1/11(日)に、「新年たこあげ大会」が実施されました。団のキャンプ場のある高津区宇奈根の多摩川の河川敷にビーバーからローバーまでのスカウト・指導者・保護者およそ80名が集まり、楽しい時間を過ごしました。

当日は朝から天候に恵まれ、澄んだ青空と冷たいけれど適度な川風が私たちを迎えてくれました。開会式で橋本団委員長から新年のあいさつがあり、いよいよたこあげのスタートです。参加スカウトみんな、自作のたこです。それはこのプログラムを企画したローバースカウト(大学生年代)が、自分たちで製作編集した「凧のつくりかたの本」(通称:タコ本)を前月の集会で配布してくれていたのです。実際にいろんな形、いろんな絵のたこがいっぱい集まりました。実際にたこあげが始まると、お父さん・お母さんも一緒になって駆け足。すごく楽しい親子集会になりました。



お昼ごろになると、河川敷の上のキャンプ場では育成会のお母さんたちがアツアツのおしるこを用意してくれていました。青空の下でみんなで食べるあったかいおしるこ。すごくおいしかったです。

そしてドキドキの表彰式。団委員長賞:BS栗野峻之 SuperFly賞:CS岩本博紀 ローバー特別賞:BS白井智也 GoodDesign賞:CS畠山実梨よくがんばった賞:BVS森島佑紀。発表のたびにスカウトからは歓声があがり、楽しかった一日を終えました。

参加者主役の成人研修会

川崎市子ども会連盟・成人指導者研修委員長 大津博之

10月22日に行われた成人研修会は、参加者がお互い意見を出し合ったり、色々なスタイルでゲーム等の体験が出来る形で参加者が主役となる研修としてみました。講師には(財)かわさき市民活動センター理事長・小倉敬子氏をお招きし『子どもの魅力ある居場所について考えよう』をテーマに4部構成で行いました。

- 1) アイスブレイキング(取材方式で歩き廻る交流ゲーム)
- 2) ワークショップ(KJ法によりテーマについて意見交換)
- 3) ワークショップ(1対1の一筆描き似顔絵)
- 4) 子どもの権利条例についての話

以上106名の参加者が7グループに分かれ楽しく交流の出来た意見交換研修となりました。

川崎市インターネット問題相談窓口(ネットの悩み相談しよう!)

子どもたちを取り巻くインターネット問題のトラブルについて、相談に応じています。

電話 044-200-3068 平日8:30~21:00 受付

PCメール <http://www.city.kawasaki.jp/88/88kaikaku/kyouseikyoku/index.htm>
(川崎市のホームページからリンク)

携帯メール <http://www.city.kawasaki.jp/k/info715.html>
(モバイル川崎からリンク)



発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001
高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 西桜印刷株式会社